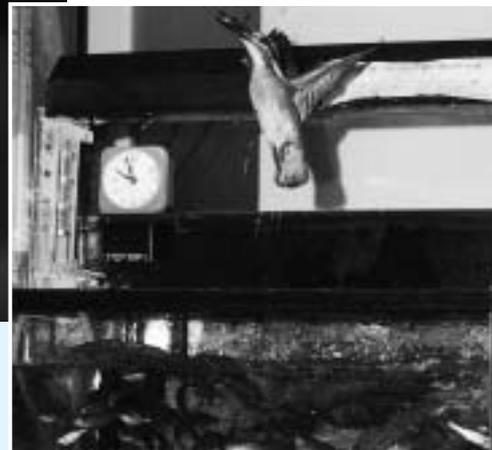


専門家も目を疑った手乗りカワセミ



水しぶきを上げて水槽から飛び立とうとしているのは、なんと野生のカワセミ。この信じられない光景を撮った写真が、吾妻の岡澤和正さんから寄せられました。傷ついて飛べなくなっていたカワセミを保護し自宅でも世話をしていたところ、なんと手に乗ったり魚捕りをするように。動物園などの専門家に聞いても、野生のカワセミが人になれるはずがないと、ただ驚くばかりだったとか。傷が完治したカワセミは、岡澤さんの手で元の生息地に放られました。



小魚をくわえ水槽から飛び出した瞬間のカワセミ

専門家もびっくり
カワセミが自宅の水槽で魚捕り??

救急キャンペーン
いざというときのために
心肺蘇生法を体験

9月9日の「救急の日」にちなみ、9月6日から8日まで市内で救急キャンペーンが行われました。9月7日にはイオン成田ショッピングセンターで開催され、家族連れなど約500人が会場に。心肺蘇生法の体験コーナーでは一般参加者による実演も行われ、救急救命士の指導を受けながら人工呼吸や心臓マッサージに挑戦していました。

子どもと一緒に人工呼吸を体験



石橋里佳さん

応募されたすべての作品は、千葉県統計グラフィコンクールに出品されます。

- 市長賞 石橋里佳さん (遠山中3年)
- 議長賞 藤田京子さん (豊住小5年)
- 教育長賞 鈴木遼平くん (豊住小6年)
- 統計研究会長賞 鈴木彩加さん・越野彩さん (遠山中2年)

成田市統計
グラフィコンクール
市長賞には
石橋里佳さん

成田市統計グラフィコンクールに市内の小・中学生から102点の作品が寄せられ、この中から特別賞4点、金賞40点が選ばれました。特別賞の受賞者は次のとおりです。

旧久住中校庭に埋めた
タイムカプセル

懐かしい！ 思い出の絵や作文が

暫定平行滑走路の運用開始で移転した旧久住中学校の校庭で、9月1日、卒業記念で埋めたタイムカプセルが22年ぶりに掘り出されました。埋めたのは昭和54年度の卒業生で、カプセルとなったかめには作文・将来の夢を描いた絵・運動会の写真などがぎっしり。一つずつ取り出すたびに歓声がわき上がりました。



当時の絵を見て思わず顔がほころぶ卒業生



歓迎晩さん会で
“よさこいソーラン節”を披露

万里の長城も笑顔で踏破

ニュースポーツフェスタIN成田 子どもからお年寄りまで ニュースポーツに チャレンジ

厳しい残暑となった9月1日、市体育館でニュースポーツフェスタIN成田が開催されました。この日は、ユニカール、スポーツチャンバラ、ピンボウリングなど7種目に約200人が参加。それぞれの種目の“達人”に指導を受けながら、「子どもからお年寄りまでどこでも気軽にできる」ニュースポーツを思い切り楽しんでいました。



フォークダンスの合間にユニカールに挑戦



「2002成田市少年の翼」
が中国を訪問
悠久の歴史と
広大な大地に
友好の絆を結び帰国

成田市少年の翼の小・中学生50人が、8月18日から24日までの日程で中国・北京市や上海市などを訪問しました。歴史的な文化遺産や美しく広がる景色など、そのスケールの大きさに大感動の一行。友好都市・咸陽市では、現地の子どもたちの歌や踊りによる歓迎にこたえて、練習を重ねた「よさこいソーラン節」などを披露。18回目を迎えたことし、青少年の交流を通じた友好の絆はさらに固く結ばれました。